

宝塚市立図書館サービス向上計画実施事業一覧 平成28年度～令和5年度（2016年度～2023年度）		
No.	向上策	実施事業
1. すべての市民にとって使いやすい親しみの持てる図書館をめざします		
1-1 全市的な図書館サービス体制の整備		
1	中央図書館の機能の充実／各館の改修工事等	館内広告や飲料自販機設置等による歳入確保により、交流スペースとして北西側広場、玄関前広場の整備を進めた。平成29年度に中央図書館の外壁改修工事、西図書館防災監視盤更新工事、令和3年度に中央図書館空調設備（GHP）更新工事、西図書館空調ほか改修工事、令和4年度に中央図書館受変電設備更新工事など、施設・設備の修繕・更新を行った。
2	既存施設を利用した分室・集中書庫の設置	令和2年10月、図書館サービスが希薄な地域の一つ、小浜・安倉地域の教育総合センター内に小浜・安倉分室を開設した。
3	移動図書館車（BM）ステーションの再配置	平成30年10月に「中山台ほっこりハウス前（中山台1丁目）」に新ステーションを追加、また、各ステーションの利用状況の変化に伴い全面的に巡回日時の変更を行った。新分室開設に伴い、2ステーションの廃止と新設（山手台・中筋）を実施した。
1-2 既設館の開館日・開館時間の拡充		
4	開館時間の延長 (中央図書館・西図書館)	平成30年1月より中央、西図書館の開館時間を30分早め、9時30分からの開館とした。
5	分室の開館時間延長	平成28年に中山台分室の土曜日、日曜日の開室時間を午前10時30分から午後5時までに変更した。平成29年に山本南分室の木曜日の開室時間を午前10時から午後6時までに変更した。
6	時間外窓口・休館日窓口の設置	西公民館での時間外の予約図書の引き渡しに加え、中央図書館でも令和3年7月より予約図書の時間外受け取りロッカーを設置した。休館日の予約図書引き渡しは、中央、西図書館で平成27年度より実施している。
1-3 身近な読書環境の整備・支援		
7	館外ブックポストの整備	平成28年ラ・ビスタ宝塚管理センター（すみれが丘1丁目）、コープ宝塚（阪急逆瀬川駅前）に返却ポスト、平成29年に西谷サービスステーションに返却箱、令和2年にJR中山寺駅南駐輪所に返却ポストを設置し、館外の返却ポイントを合計11か所とした。
8	図書館以外で予約資料受け取りなどを行うサービスポイントの整備	平成30年1月15日より中央公民館受付での予約資料受け取りサービスを開始した。（返却本の受取りも実施）
9	公共施設の図書室への支援	リサイクル図書を活用し手続きなしで本が借りれる「ぶちライブラリー」を平成28年に健康センター（小浜）に設置、以降、西谷自然休養村（後に西谷ふれ愛ライブラリー）、中央公民館、ピピアめふ、国際文化センター、さらら仁川に設置した。人権文化センター図書室等への支援を開始した。

No.	向上策	実施事業
10	街角図書館の支援・整備	公設公営のものとして、令和2年に西谷夢プラザ内にふれ愛ライブラリーを開設した。
1-4 非来館者・来館困難者（障害・介護・育児による）へのサービスの拡充		
11	障害者への無料郵送サービスほかの郵送サービス	障害者対象の無料郵送サービスのほか、育児・介護のため来館困難な方への無料郵送サービス、その他の方への有料郵送サービスを継続して行った。
1-5 館内サービスの向上		
12	接遇の向上・専門職としての技術の向上	令和元年度に、中央図書館、西図書館の全職員を対象に認知症サポーター養成講座を実施した。以降、新任職員は全員養成講座を受講している。
13	ゆったりと読書ができる場所の設置	中央図書館玄関前と北西側広場について令和元年度～5年度に植え込みの整理、スロープすりや芝生の整備を行った。この事業費に充てるものとして、令和元年4月に中央図書館敷地内に自動販売機を設置した。
2. 情報の収集と発信の拠点として、市民にとって役に立つ図書館をめざします		
2-1 多様な資料の充実、資料費の確保		
14	図書資料の充実と予算の確保	令和2年より、館内広告の設置等により、自主財源確保の取組を開始した。
2-2 館内のネット環境の整備		
15	持込みのパソコンが使用可能な環境の提供	中央図書館と西図書館では、指定場所でノートパソコン等を使用できる座席を設置した。
16	インターネット接続環境・インターネット接続端末機の提供	平成30年10月、中央図書館と西図書館にフリーWi-Fi環境を整備した。
2-3 インターネット・メールを使ったサービスの拡充		
17	ホームページの充実	平成30年度の図書館システム更新時にホームページを一新し、蔵書の表紙画像を表示するなど新しい仕組みを導入した。
18	図書館からのお知らせの発信	平成30年度の図書館システム更新時にTwitterや新着案内をメールで配信する仕組みを導入した。
2-4 視聴覚資料・サービスの充実		
19	C Dの貸出	令和元年6月から、中央図書館でも音楽C Dの貸出を開始した。
2-5 多文化サービスの充実		
20	外国語資料の充実／簡単な英語資料など、学ぶための外国語資料の充実	寄贈図書を中心に外国語資料および「英語多読」資料の充実に努めた。
2-6 レファレンス・サービスの充実		
21	レファレンス機能の充実	国立国会図書館デジタルコレクションの図書館向けデジタル化資料送信サービスを活用してレファレンスを行った。

No.	向上策	実施事業
3. 子どもの読書環境を整え、読書活動を推進し、未来を支える図書館をめざします		
3-1 ブックスタート事業の充実		
22	ブックスタート事業の継続実施	図書館・健康センター・ボランティアの協力関係も良好で、アンケートによれば利用者の満足度も高い。コロナ禍により令和2年3月から集団健診が中止となり、絵本引換券による図書館での絵本引き渡しを開始。令和5年4月から健診会場でのブックスタートを再開した。
23	ブックスタートボランティアの育成	一定のボランティア数を維持し、内容を充実させるためにも、定期的に研修を行っている。コロナ禍での中断を経て再開の際、改めて研修を行った。
3-2 学校・学校図書館との連携・支援		
24	学校図書館へのメール便の運行・物流	平成27年度から本庁メール便を利用した学校等への配本を開始した。
3-3 学校・地域児童育成会・幼稚園・保育所への支援		
25	学校や地域児童育成会等へ、団体貸出の配達・配本	コロナ禍による休校・休園中、負担が増加した地域児童育成会、保育所等を支援するため、令和2年4月30日から5月末まで図書館員による団体貸出図書の配本を行った。
3-4 地域児童館との連携・支援		
26	児童館との連携	中央図書館で出前児童館を継続的に実施した。
3-5 子ども向け行事の充実		
27	魅力的な行事の企画・実施	「ぬいぐるみのお泊り会」「福袋」「子ども向け読書講演会」など、話題性のある企画を継続実施した。
28	他施設・ボランティアとの連携・協力	社会教育課との「古民家であそぼ」「西谷森の図書館」、文化振興財団との「テントショカン」、学校教育課との「ことばの祭典」など、連携事業を実施した。
3-6 子ども向けサービスの充実		
29	読書手帖の発行による読書啓発	平成30年から中学生以下の子どもを対象に読書手帖を配布し、読書活動の啓発を行った。
4. 仕事や暮らしなど市民生活を支援し、地域の課題に対応したサービスの充実に取り組む図書館をめざします		
4-1 ビジネス支援		
30	ビジネス支援・起業関連資料の充実	ビジネス（起業）支援関連図書の充実を図った。また、関連資料の展示を随時行った。
4-2 行政支援		
31	資料調査や資料提供を通じた行政支援の実施	市職員からの行政に関わる資料調査依頼や資料提供依頼に対し支援を行った。
4-3 子育て支援		
32	子育てに係る機関等との連携事業の実施	平成30年9月に策定した「子どもの読書活動推進計画（第3期）」に基づき、連携事業を実施した。
33	講演や育児相談等の実施	子どもの読書活動推進計画関連事業として、令和2年度から毎年小学生～高校生を対象とした講演会を開催した。

No.	向上策	実施事業
4-4 暮らし（医療・法律等）の課題解決支援		
34	講演や相談会の実施	歯科医師会と連携・協力して、平成28年度より中央図書館集会所で歯科相談を行っている。コロナ禍の中断を経て、令和5年度から再開した。
4-5 高齢者へのサービス・支援		
35	高齢者に寄り添ったサービスの充実	大活字本、朗読CD、医療関係資料などの充実を図った。「認知症にやさしい図書館」の取組の一環として「認知症コーナー」を設置した。
36	高齢者を対象とした図書館行事の実施	中央図書館で、令和3年度より「宝塚好奇心クラブ」と題し、認知症を知る講座や認知症を遠ざける講座を開催した。
37	認知症の方、またはその家族のためのサービスの実施	認知症に関する展示や映画の上映を行った。令和3年度より認知症関連講座として、「認知症サポーター養成講座」「認知症サポーターレベルアップ講座」「家族の介護体験」を行い、令和4年度からは「認知症キッズサポーター養成講座」を実施した。
4-6 障害者へのサービス・支援		
38	障害者を対象とした図書館行事の実施	令和2年より中央図書館で障碍福祉課主催の「手話で楽しむ絵本の世界」を継続実施、西図書館で令和3年度より「絵本で楽しむ手話の世界」を継続実施した。
39	障害者関連施設との連携	平成29・30年度に特別支援学校の見学を受入れた。
5. 市民が集う、市民と共に成長する図書館をめざします		
5-1 多様なイベントの実施		
40	魅力的な行事・イベントの企画・実施	子ども向きでは「図書館の福袋」「ぬいぐるみのおとまり会」「夜の図書館」「ことばの祭典ビブリアバトル」「子ども向き読書講演会」のほか、夏休みには「図書館探検隊」など人気行事を毎年開催した。大人を対象としたイベントも随時開催した。
41	市民の読書活動に資する一般（大人）向けイベントの実施	令和3年度まで「読書講演会」を開催した。令和4年度まで「市民のための現代文学講座」を開催した。その他「古文書入門講座」「デジタルミュージアム活用講座」など多数開催した。
5-2 市民の交流の場所・機会の提供		
42	交流機会を提供する事業・イベントの実施	令和4年度までにマチ文庫100冊以上作成し、発表会や相談会を開催した。読書会や現代詩講座などの参加者間の交流を伴うイベントも開催した。
5-3 他施設・部局との連携		
43	近隣の施設（鉄斎美術館、手塚治虫記念館等）との連携	鉄斎美術館や文化・芸術センターなど、近隣の文化・芸術関連施設との共催企画を実施した。
44	イベント等への参加による図書館のPR	コロナ禍までは、「宝塚音楽回廊」「自然とアートの秋フェスタ」、令和4年度からは「西谷森の図書館」に移動図書館が出動した。

No.	向上策	実施事業
5-4 リサイクル図書の活用・提供		
45	リサイクル図書等の市民への提供	中央図書館に続き、平成29年度に西図書館にリサイクル図書コーナーを設置した。
5-5 ボランティアの育成・支援		
46	図書館の運営ボランティアの育成・支援	ストーリーテリングボランティア養成講座を継続実施した。また、図書館でのボランティア活動について、図書館ホームページ、館内掲示等で周知した。
5-6 市民意識調査の継続実施		
47	未利用者へのアンケート調査（市民アンケート）の実施	平成28年度に無作為抽出によるアンケート調査を実施した。アンケート結果を受け、9時30分開館など図書館運営に反映した。令和4年度にもアンケートを実施した。
48	利用者満足度調査の実施	平成30年度、令和5年度に図書館利用者に対しアンケートを実施し、図書館運営の参考とした。
6. 宝塚の文化と郷土の歴史を紹介し、次世代に大切に引継ぐ図書館をめざします		
6-1 市史資料室との連携強化		
49	市史資料室所蔵資料の活用	社会教育課と連携し、図書館振興財団からの助成を受け、令和3年度に「たからづかデジタルミュージアム」を開設、市史資料室所蔵資料の公開を開始した。新聞、雑誌、書籍出版、テレビ番組等への資料提供を行った。
50	市史資料室所蔵資料の公開	聖光文庫において、市史資料室が企画する歴史資料展を年2回～4回開催し、市史資料室が保存する資料の公開を行ったほか、西谷ふれ愛ライブラリーでの西谷村役場文書関連展示を行った。
51	旧松本邸（中央図書館桜ガ丘資料室）の活用	年2回の一般公開を継続実施した。コロナ禍での中断を経て、令和3年度から一般公開を再開した。
52	市史資料室所蔵資料のデジタル化	資料のデジタル化を順次進め、「たからづかデジタルミュージアム」での公開、デジタル資料の提供を行った。
6-3 郷土・行政資料の充実		
53	未整備の公文書等の郷土行政資料としての整備	旧西谷村役場文書について、後世に残すべき郷土・行政資料として、整理、保存、研究するとともに一般公開に向けて整備を行った。今後も継続して整理していく。